

令和5年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	・文章の特徴の説明として適切なものを選択することができる。	・筋道の通った文章となるよう文章全体の構成や展開を考えて書けるようにする。事実と感想、意見とを区別したり、資料を引用したりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるような指導をしていきたい。
算数	・二位数の乗法の計算ができた割合が高い。 ・重ねた椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていない(比例していない)ことをよく理解し、表の数を使って書くことができる。	・計算の正しい解き方を意識し、様々なパターンの計算問題を練習する。問題解決の過程や結果を言葉や図で友達に伝え合う活動を取り入れる、表やグラフから必要な情報を選択するなどの取り組みをさらに充実していきたい。
質問紙	・「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した割合が国・県より高い。 ・「人が困っているときは、進んで助けますか」の問いに「当てはまる」と回答した割合も国・県より高い。 ・「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できていますか」の問いに「当てはまる」と回答した割合も国・県より高い。 ・「英語の勉強は好きですか」の問いに「当てはまる」の回答も国・県より上回る結果となった。	・「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ」に対する回答が低めの結果であったため、子どもの興味関心が高まるような課題を教師が設定することや、その課題に対し自分で考える時間を確保することが重要である。また教師からのヒントとなるような投げかけも大切となる。 ・学習した内容がしっかりと身に付き、一つ一つの活動が継続して積み重ねたものとなるよう、指導に当たっては、各教科において、単元や毎時間の授業の終末に、学習で分かったことや難しかったこと、できなかったことを改善するためには次にどうすればよいか考える活動を取り入れることが重要となる。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・国語の文章問題に対し、時間に余裕をもって取り組むことができるよう、文章読解力を高めることが重要となる。学校図書館を利用した読書活動や音読活動の充実、さらに校内での読み聞かせ活動の継続にも努める。 ・算数を勉強することが好きになるためには、その課題に対してチャレンジしてみたいと興味・関心が高まることや、自分で課題解決ができた喜びを得ることが重要となる。指導にあたり、児童の興味・関心が高まるような教材・教具を用意し、課題の解決に向けて児童が自ら考え、取り組めるような授業づくりを行う。
--

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<p>自分が育った地域を誇りに思う子、地域から大切に育ててもらったと思える子、そして国府が好きな子になってほしいと願いつつ、開校150周年記念の年を迎えました。前年度まで、全国や神奈川県より低めだった「自己肯定感」が今年の数値で高くなったのは、学校と家庭、そして地域が一体となってこの国府小学校の歴史をつなぐ取り組みをしてきた成果と考えます。</p> <p>今後も、教職員一同力を合わせて、教育活動の充実に向けて取り組んでまいりますので、引き続き、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。</p>
